

起業応援ルーム芽でネット開催事業

起業応援ルーム芽でネットでは、女性の経済的自立支援を目的に講座事業、起業関連図書貸出、起業相談、パソコンサポートなど女性を対象とした起業および就労支援を行っています。

■ 起業事業

◆ 女性起業芽でる塾

入門編Part1 (8月) / 入門編Part2 (10月) / 実践編 (11月)

入門編Part1では、先輩女性起業家より起業への想いをお聞きし、Part2では、起業についての講義のあと、数ある単語の中からそれぞれの起業の想いに通ずるキーワードを抜きだして文を作るワークを行い発表しました。また、2日間に渡った実践編では、講師から一人ひとりに具体的なアドバイスをいただき、皆さんの起業への一歩となったようです。



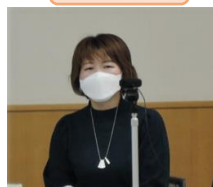
入門編 Part2

◆ 起業応援フォーラム2020 (令和3年2月)

今年度のフォーラムは、コロナ禍での感染リスクを避け、講演会およびワークショップ「はなそう! はなそう! タイム」を会場とオンラインの同時開催に、また従来の女性起業家による出店マーケットを「女性起業家PRタイム動画」に内容を変えて開催しました。

午前の講演は、県外企業に転職しリモートワークの傍らコーヒーとワークスペースのある本屋さん「Ponobooks&time」を開業されている小山由香理さんに「わたしの働き方」と題してお話しいただきました。

講演会



講師の小山由香理さん

女性起業家PRタイム～起業への想い～ (動画視聴)



7人の女性起業家の皆さんが、それぞれの起業をPRし、想いを語りました。参加者より、「皆さんしっかりとした軸があって、前を向いて楽しんで仕事をされている様子が伝わり、ますます起業に興味がわいてきました」という感想をいただきました。

はなそう! はなそう! タイム

「私のやりたいこと、私のアイデアについて」をテーマにそれぞれの想いを共有し、情報交換の場となりました。



■ 就労支援事業

◆ シングルマザー就労支援講座 (10月)

「キャリアデザイン～私だけのストーリーを形に～」

就職に役立つジョブカード作成方法を学びながら、自分の強み弱みを知ること自分らしい働き方を考える機会となりました。

◆ 就労支援講座「IT学びなおし+スキルアップ」 (令和3年1月)

今年度は、仕事に役立つパソコンのスキルアップの内容で、全10回の連続講座でした。夜開催でしたが、出席率もよく、皆さん真剣に受講されていました。



もりおか女性センター

(管理・運営: 特定非営利活動法人 参画プランニング・いわて)

〒020-0871 岩手県盛岡市中ノ橋通 1-1-10 プラザおでって5階
 電話番号 (019) 604-3303 FAX (019) 601-4031
 開館時間 月曜日～金曜日 9:00～21:30 (土日祝17:00まで)
 休館日 毎月第2火曜日、年末年始

■ 起業応援ルーム 芽でるネット

〒020-0871 岩手県盛岡市中ノ橋通 1-1-10 プラザおでって1階
 電話番号 (019) 604-3303 FAX (019) 601-4032
 開館時間 月曜日～金曜日 10:00～17:00
 休館日 土日祝日、毎月第2火曜日、年末年始



(バス)
 盛岡駅より茶畑・バスセンター方面行き バスセンター前下車
 徒歩3分

※女性センターには、専用の駐車場はありません。
 おでって地下駐車場や近隣の有料駐車場をご利用ください。

ホームページ <http://mjc.sankaku-npo.jp>

● 女性相談

相談受付電話 019-604-3304

女性がかかえる、家庭や職場、身の回りのさまざまな悩みを、専門の相談員と一緒に考えます。性別や社会通念にとらわれず、一人ひとりの生き方を尊重する社会の実現をめざして、相談室はあなたらしい生き方を支援します。

- 相談には電話相談と面接相談があり、予約が必要です。
 また、メール相談も受け付けます。E-mail: soudan@sankaku-npo.jp
- 相談は無料です。秘密はかたく守ります。

相談開設時間	
月	10:00 ~ 17:00
火	10:00 ~ 17:00
水	10:00 ~ 20:00
木	10:00 ~ 20:00
金	10:00 ~ 17:00



ひとひと
 一女と男、ともに参画する社会をめざして

もりおか女性センター

ニュースレター

もりおか女性センターは、女性の自立と社会参画を支援するとともに男女共同参画を推進する拠点です。

2021年3月

No. 89

学ぶ

学習・研修の機会

出会う・力をつける

活動促進・交流の場

悩み・考える

女性相談

考え究める

調査・研究事業

知る

情報提供・収集場所

発行：もりおか女性センター

8月 ■親子で「知ろう！守ろう!! わたしの心とからだ」

「生と性は大切だけど・・・どう伝えればいいかわからない」と困っている思春期の子をもつ母親と子どもが、一緒に生と性について考える親子講座を実施。

「生と性を話すことは恥ずかしい」と考えるのではなく、自分の体を守るためには大切なことであるというメッセージを親子で共有できました。

講座の中で実際に下着や生理用品を手にとり、親子でコミュニケーションをとった時間は、生と性をポジティブに捉えるきっかけとなりました。



8月 ■オンライン講座 YouTuber かずえちゃんに聞こう！LGBTQのこと



講師のかずえちゃん

今年度のLGBTQ講座は、講師に遠隔で出演していただき、オンライン参加と会場参加の併用で、もりおか女性センター初のオンライン講座でした。

前半では、講師の実体験の話から「ひとりじゃない」というメッセージを届けていただきました。後半の質問タイムでは講師の一つひとつ丁寧に答えいただき、それぞれのもやもやを軽減することができました。

連続講座

8~9月 ■男性のための交流分析講座 「フレキシブルに考える力を身につけよう！」



受講された皆さんが、専門的な学びに熱心に取り組んでいた様子が窺えました。

昨年度に引き続き、交流分析の視点から考えるコミュニケーションについて学びました。

自分が、“基本的な構え”という4つの型のどこにあてはまるかを知ることが大切であり、そこから人間関係を築く基礎が始まって自分自身の生き方も結びついていく、という興味深い内容でした。

9月 ■認知症の当事者と家族それぞれが自分らしく生きるために ~時計屋カフェ座による経験的語り~

参加者は10代から80代と幅広く、認知症の問題は、多くの方が関心を持っていることを実感しました。

認知症当事者、現在妻の介護中の方、認知症の妻を看取った後に地域の支援活動をしている方、それぞれの立場の貴重な話を生で伺い、認知症について理解を深める機会となりました。

2025年には高齢者の5人に1人が認知症になると予想される時代、認知症になっても自分らしく生きられる社会について一人ひとりが考えていくことの大切さを学びました。



令和2年度 開催講座の報告

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大のため4月に「緊急事態宣言」が発令されました。それに伴い施設利用やイベントの自粛等があり講座開催にも影響を及ぼしました。その中で、時期や内容を変更しながら様々な講座を開催しました。

11~12月 ■今、考えよう！ コロナ時代の地域防災

連続講座

今年度は、コロナ禍での事業開催のため、これまでのグループワークを個人ワークに切り替えるなど、例年とは違う手法で開催しました。

初日の「高齢者・障がい者・女性等の多様な視点から見る防災」では、2年前の防災講座修了生で立ち上がった自主グループ「BOUSAI ネット盛岡」による寸劇を通して、実際の災害状況や避難所運営の現場を想定し、性別や立場による困難の違いを学ぶことができました。参加者から、この講座で学んだことを地域や職場で活かしていきたいという声が聞かれました。



R3. 1月 ■非正規で働くシングル女性のライフプラン

連続講座

第1回では「これからの私のみがき方」と題しキャリアと自己理解について学びました。自分の経歴や経験を振り返り自分自身と向き合う時間となり、そこから自分の強み弱みを知る機会になりました。

第2回は「働く人の権利を守る法律や制度」について専門家から私たちの「権利」や「働くルール」について学びました。また、コロナ禍の労働事情について相談事例を交えながらお話を伺いました。一人で悩まずに自分から相談することが大切であることや、それぞれが抱えている不安などを最後の交流タイムで共有することができました。

2月 ■多様な人材の活躍を考えるフォーラム ~コロナ禍で働き方はどう変わる~

第1部では、サイボウズ株式会社の大槻幸夫さんを講師に迎え、「なぜ日本企業にテレワークは難しいのか？」と題してご講演いただきました。

サイボウズと言えば働き方改革の先進企業として有名ですが、最初からそうであったわけではなく、10年以上かけて画一性から多様性へと働き方改革を行った経緯を具体的に、わかりやすくお話しくださいました。

また、第2部のグループディスカッションでは、参加者同士が講演会の感想や今後取り組んでいきたいことなどを共有しました。これからの多様な働き方を考える機会になったと思います。

2月 ■女性のこころとからだ講座 =映画会= 「90歳!! 現役セックス・セラピストから学ぶ『大切な生と性』」

90歳現役セックス・セラピストのドキュメンタリー映画「おしえて！ドクター・ルース」を上映しました。エイズや中絶問題、LGBTQの人々に寄り添い続け、性を真摯に爽やかに語るルースの生き方を学び、感想シートにお一人おひとりの思いを記入してもらいました。

性のタブーを払拭し、人権に関わる生と性を学び伝えることは、個人の生涯と社会において不可欠であることを、映画を通して学ぶ機会となりました。



ドクター・ルース

3月 ■防災オンライン講演会 東日本大震災から10年 あの日、何が起きた？ ~悲劇を繰り返さないために~

東日本大震災から10年を迎える今年度は、YouTubeLIVE視聴とアーカイブ視聴、会場視聴の3つの参加方法で開催しました。

語り部の宮城県石巻市の佐藤美香さんの長女、愛梨ちゃんは、東日本大震災の折、幼稚園バスの中で津波と火災に巻き込まれました。あの日、助かったはずの命がなぜ亡くなったのか、当時の経験をお話いただきました。

全国からたくさんの方にお申込みをいただきました。多くの方がこの教訓をどう活かすかを考える時間となりました。



3月 ■男女共同参画基礎セミナー「もりおか女性塾 特別編」 *3/13(土)に今年度最後の事業を開催します！

【第1部】オンライン講演会 「女らしさ？男らしさ？“らしさ”との向き合い方」 講師：治部 れんげ さん（フリージャーナリスト）

【第2部】映画「ピリープ 未来への大逆転」上映会

市民団体支援事業

今年度は5団体の実施予定でしたが、コロナ禍での実施が難しく辞退された団体もあり残念でした。その中で、3団体が「戦争を語り継ぐ」、「LGBTQ+と人種差別」、「農村女性の自立と生きがい」をテーマにオンライン講演やDVD上映等の工夫をして開催し、市民の皆さんにご参加いただきました。

男女共同参画推進のため活動をしている団体が今後も活躍され、活動の輪が広まることを期待しています。

人権出前講座

開催依頼のあった学校が4校、参加人数は合計約940名でした。

新型コロナウイルス感染防止対策として、体育館などの広い会場で行い、講義、DVDの視聴、開催校の生徒によるロールプレイなどを交えて講座を展開しました。「暴力の種類を知った」「相手の立場や思いを考えることが大切だと思った」「お互いが対等な関係であること」等の感想があり、相手とのよりよい関係の築き方を伝えることができたのではないかと思います。

共催事業

■学び、広げる！「女性差別撤廃条約」差別に気づいた！わたしから、私たちへの平等へ 主催団体：NPO法人参画プラネット

講義とワークを通し「女性差別撤廃条約」について学び、ジェンダー平等な社会を実現することをめざす学習会となりました。

■世代間トーク「ミニコミから #MeTooへ」

主催団体：世代間トーク実行委員会

柳原恵さん著『く化外>のフェミニズム』を手掛かりに「ミニコミ世代」と「#MeToo世代」の女性たちがつながり、互いの経験を分かち、学び合うことを通じてエンパワメントする機会となりました。